とかち新聞
主筆 松山明
(発行所) 北海道足寄町 とかち新聞社 電話5－2551番
毎旬5の日発行 1カ月300円 1カ年前納の場合3,000円

どうする中学校問題

陸別町議会

陸別町議会の第四回定例会は十七日午前十時に招集して議会諸般報告、町長と教育長の行政報告がありまして本会議をひらき、会期を二十三日までの七日間として（うち十九、二十、二十一日は休会）ただちに一般質問に入りました。

矢舗止信氏　陸別中学校の建設場所は九月の定例会で町長は三年前に取得した土地に統合校舎を建設すると言いたかったが、カベになっている中斗満地区の統合に反対、予定地に反対をどうするか、いつまで話し合いをかければ話し合いする必要はないというが、年度末の三月までに話し合いは不可能ではないか、誤解を得られるかどうか、得られない場合どうするかギリギリの線で、統合校舎でやるか、建設費はどのくらいかかるか

佐々木教育長　建築せねばならないので、できれば造成費、設計費などをなるべく早い機会に予算化をおいしたいと話し合いしている、かねあいの関係となるが大きな建物になると設計にも日数がかかるので設計はすすめながら、一方で建設するという形については早い時期にふみ切らなければならないと委員会ですすめており、いつの時点となると難しいが、今年度中かあるいは来年度にまたがつても来年後の早い時期にひとつの線を出さねばならない

矢舗氏　きくところによると十日に町と教育委員会とが協議して、再考の余地を二十三日までに話し合いする必要はないというが、年度末の三月までに話し合いは不可能ではないか、誤解を得られるかどうか、得られない場合どうするかギリギリの線で、統合校舎でやるか、建設費はどのくらいかかるか

佐々木教育長　建築せねばならないので、できれば造成費、設計費などをなるべく早い機会に予算化をおいしたいと話し合いしている、かねあいの関係となるが大きな建物になると設計にも日数がかかるので設計はすすめながら、一方で建設するという形についてはは早い時期にふみ切らなければならないと委員会ですすめており、いつの時点となると難しいが、今年度中かあるいは来年度にまたがつても来年後の早い時期にはタイムリミットが来年度の早い時期にくると考えられる、町民の関心も中学校の建設に向けられていると言いつても過言でないので、来年度に向けては校舎予定地の造成、校舎建設のプランなどを計画する段階にきていると判断し、慎重に検討したい

など一般質問のなかでの中学校問題に関する質疑は以上のとおりでしたが、最終日（一日くりあがつて二十二日）に最終議題として陸中建設促進期成会（久保省三会長）から二千六百名の賛成署名簿をそえての陳情は、本年三月に採択したのと同じものとしてふたたび採択に決定したあと

矢舗氏　動議として、陳情は採択されたが教育委員会も町も中斗満地区の反対のカベにあたっている、このさい議会に特別委員会を設置して協力すべきではないか

池尻英治氏　陳情を採択して町長に送付したのだから特別委員会を設置する必要はない

宮古　秀氏　いつたん議会が決定したことから一事不再議に反する

松台国雄氏　越権行為である、議会が特別委員会をつくつて中斗満地区を押えつけることはできない、地元が諒解しない統合は裁判にかけても不可能である

矢舗氏　法的に問題があるなら動議は取消す

などの論議があつて午後二時半すぎに閉会しました。

石橋建設の下請けに疑義　元請けは町内に不在

中学校問題について一般質問のなかで問題になつたのは土木・建築工事についてまりのできるところは手直しさせたが、町内業者の育成はよいが、たまたま東三条の体育舘の通りの工事は菊地組だが実際にやつているのはブルからトラックなどみな木下組の機材をもつていつてる、また新町の七百九十万円の内藤組の排水工事も完全に石橋組がやつている、町の規則によつて下請けの契約をとりかわしているのか、いまやつているのは下請けでないのか、力のあるものが小さい業者の名前でドンドンとることになるのでないか

杉田町長　土木関係の工事について団体営草地開発事業五二林班工事の菊地組は十月九日完成が集中豪雨の被害で十四日間延期した

矢舗氏　集中豪雨の災害というほどのものでない、十四日間の延期を認めて延滞金をとらないのか、下請けは建設業法で認めている

が現実に東三条は菊地組でやつたといえるか、新町のやつたとい えるか、新町の工事は内藤組の人夫二人だけであとは全部石橋建設の機械でやつている、こういう状態を下請けでなく本人がやつたと認めるのか、機械をチョッと貸しただけだというのか

杉田町長　オール下請け

業者の内部は関知せず

杉田町長

宮古氏　新町、緑町および若葉町の道路や排水整備計画はどのようになつているか、また土地所有者と町道移管の話し合いはどうかの計画はどのようになつている、また土地所有者と町道移管の話し合いはどうかの

矢舗氏のいうように陸別にいない業者にやらせている町で疑問すべきだ、大きな業者が力があるから落札するが、ところが実際には小さな業者が元請けで下請けにやらせている、そんなことができるならなにもランづけの必要はない、業者の育成もない、ボンボン大手業者ばかり伸びていく、そういう体質にしてしまつたのでないか、大きな業者がとつて工期延長でもなんでも適当にやらせるのなら小さな業者はダメになる、

部の舗装の上塗りをしたが勾配の関係から上塗りでは理事者の姿勢を改善しなければならないがどうか

杉田町長　新町、緑町などの道路、排水整備は来年度から計画的にやるが最終的に確定していない、栄町若葉町についても来年度の整備計画を樹している、土地所有者との話し合いは現在までスムーズにいつている、行政費がかかるので計画的にすすめたい、工事関係の件は指名にあたつて充分な資格審査をしていきたい、つぎに大手業者が独占的になるのではないかという点、地元業者育成を第一番に考えているので指名にあたりできるだけそうした配慮をし、入札の落札については私どもの関知するところではない。で、公正な指名がおこなわれるよう判断しているので、業界の内部的なことはよくわからないが個々の業者において自己の技術、資力を加味して入札に参加され落札するので、たまたま機械の貸与など相互協力的な形でおこなわれると考えており、全面的にオール下請けとは考えられず、またこんごそうしたことのないように厳格に指導していく

などの論議があり、このほか林保治、池尻英治、西村秀盛、北村国義、渡辺平吉の各氏からも一般質問がおこなわれました。

（以下次号へつづく）

★…年末恒例の給与改訂など主にした定例町議会は本別は十七日一日で片づき、陸別は十七日から実質三日間、足寄は十六日から実質四日間。

★…いつも本別は会期が短かいけれども、やつてることは世間なみで、町長らの行政報告についで委員会報告、一般質問は天野晴清、森正勝、北村和郎の三氏とすくないものの、貞本利光氏から緊急質問で北海タイムスが本別製材用地問題をロッキード事件の本別版と

記者席

本別と足寄と陸別と

して二回にわたつて報道したことをとりあげ、議案もふつうなみの数ですが、その日の午後四時すぎに閉会となるのは、理事者側の答弁がハッキリしており、学校統合などは地域のもりあがりによつて実施してあまり問題をかかえていないこと。

★…「主任制」のように議決になつたものの、本別では一般議員の分だけは六二時間以内なので国会の予算委員会なみの一問一答、

★…議員報酬と三役給与の引き上げは、足寄は審議会の答申どおりに提案し以内と決めてそれで問に合つているのに、足寄は一人間延長、同二号小島組も二日間延長した、舗装工事の関係で水たまりのできる一

事者の方で七万円に修正提案したのを議決、陸別では審議会の答申どおりに提案したところ議会は秘密会でうつして、九月にさかのぼつて引き上げを六月からに変更して議決。

★…一般質問は陸別も足日目の最終日によりやく討論、採決が、陸別は半日でおわつたのに対して足寄は丸二日タツブリの熱演ぶりというのは陸別は一人三問三十分以内と決めてそれで問に合

寄も八名づつの登壇でした

★…議員報酬は、足寄は一人三時間ぶりというのは陸別は一人三時間三十分

疑をくり返して四

記者席

本別と足寄と陸別と

石橋建設の下請けに疑義　元請けは町内に不在

業者の内部は関知せず　杉田町長

霊きゅう車　葬儀仏具一式　花輪　生花
(に)自動車　新津はなや
足寄町西三区　T　五ー二六二六

新畳　表替　中古畳　フスマ張替
二段ベッド　敷物一式　マットレス
小林畳店
小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前　T五ー二四二八

カメラ　八ミリ　写真材料
上野カメラ堂
上野興復
足寄町駅通り　T　五ー二五二二

大自然のなかの人工美
ーいで湯のふるさとー
観光と保養の　芽登温泉
足寄町芽登　T　二八五五

赤外線焼付塗装ブース導入！
エナメル焼付塗装　オールUSA輸料使用
札幌陸運局認証　整備　板金　塗装
ムトウ自動車工業
足寄町　T五ー二五七八　三七二九

技術と納期を誇る！
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を！
佐藤家具建材店
足寄駅前　T五ー二二二一番

家具と建材
信用は最大のサービス
西独スチールチェンソー
超ミニスター（新機種）
防震チェンソー定価七三、〇〇〇特売中
各種チェンソー・刈払機
日立　マキタ　東和　電動工具
造林用具
林業機械
鈴木鋸刃物店
足寄町大通り　T　五ー二三〇七
本別営業所　T　二ー四九二三